

警察官等を騙った特殊詐欺事件の発生について

1 認知日

令和7年11月1日（土）

2 発生日

令和7年7月24日（木）ころから同月29日（火）ころまでの間

3 被害金

現金合計2,326万円

4 被害者

和歌山市内居住の70代女性

5 状況

本年7月24日ころ、被害者の自宅に厚生労働省の職員や警察官を名乗る者らから電話があり、被害者の保険証が不正に使用されている旨説明され、以降はSNSでやりとりするように言われました。その後、検察官を名乗る者等から「あなたの保険証が不正に使われた事件で首謀者を捕まえた。あなたが共犯である疑いがあり、このままだとあなたの銀行口座を止める。あなたの資金を捜査する。指定した口座にあなたの資金を送金してください。」等と言われ、相手の説明を信じて、7月26日から7月29日までの間に6回に分けて、指定された口座に合計2,326万円を振り込みました。

被害者は、その後も捜査を続けてもらっていると思っていましたが、10月中には、相手とのSNS履歴が消されていることに気付き、警察に相談したところ、詐欺被害であると分かり、本日、当署に被害を届け出たものです。

6 その他

和歌山県警察では、

特殊詐欺被害防止専用フリーダイヤル

その話ホンマに大丈夫？かけて損なし『ちょっと確認電話』

電話番号 0120-508（これは）-878（わなや）

を開設（24時間）しています。警察官をかたる詐欺が多発しています。

警察官がお金を振り込ませたり、お金を回収したりすることは絶対にありません。

そのような電話があれば、詐欺を疑って、すぐにちょっと確認電話にて確認してください。